



内科学会に参加して

25年ぶりに内科学会年次大会で、ポスター発表を行いました。テーマは人生の最終段階に対応できる人材養成講座の評価です。これは昨年に行った人生の最終段階に対応できる人材養成講座の前後で、困難感の尺度を比較しました。具体的には、以下の項目で有意に変化を認めることができました。主な結果として、1. 人生の最終段階のがん患者さんが、これからのような身体の変化が起きていくのかと問われたときに答えることができるになり、2. 認知症などの病気でも人生の最終段階で徐々に食事が少なくなっていく人に対して、経口摂取・経管栄養・点滴など、栄養摂取についての意志決定支援を行うことができるようになり、3. 徐々に歩くことが難しくなっていくときに、自宅で療養を継続するためにどのような課題があるかを知ることになり、4. 認知症などの患者さんと異なり、がんの患者さんはある時から急に病状の変化があり、お迎えまでの時間が短いことを知り、すぐに対応ができるようになり、5. 人生の最終段階の人の苦しさについて、評価する方法を知ることになり、6. 人生の最終段階の人が、苦しんでいるとき、予測された指示による症状緩和の薬を用いる事ができるようになり、7. 人生の最終段階の人が、死について話をしようとするとき、話題をそらそうとすることが減り、8. 人生の最終段階の人に対して、具体的にどのように関わってよいか、わかるようになり、9. 大切な人を亡くされた家族に対して、どのように関わってよいか、わかるようになりました。一方で、人生の最終段階の人と、その家族と関わることを苦手と感じるという項目だけは、サンプル数が少ないためか、有意差を得ることができませんでしたが、改善の傾向を得ました。2日間の緩和ケア研修を開催するだけでなく、このようは尺度を用いて、評価していくことは大切です。評価は、とても大切なテーマであり、さらにブラッシュアップして行く予定です。

その一方で、このような評価尺度開発よりも、具体的な教育プログラムこそが大切になります。日本には、すでに医師向けのPEACEプロジェクトがあり、看護師向けのELNEC-Jがあり、薬剤師向けのPEOPLEがあります。また、地域包括ケアの研修として国立長寿医療センターが進める研修会もあります。そのプログラムと比べながら、めぐみ在宅クリニックとしてこだわってきたコンテンツは、スピリチュアルケアを含むことです。苦しくて自分を認めることができない人、家族に迷惑をかけるならば、早くお迎えが来ないかと思う人が、こんな自分でも生きていて良かったと思える援助が、現場では必要です。従来、めぐみ在宅援助モデルとしていた4つの課題に援助的コミュニケーションを加えて、苦しむ人に関わる上での5つの課題を、2日間の研修会ではいねいに学んでいきます。5月に第3期のJSP養成講座を開催します。そして、コンテンツをさらにブラッシュアップして、今度は、全国展開できる法人を立ち上げる予定です。良い時期にあらためて皆様にご報告ができるかと思えます。全国5400箇所ある地域包括ケアで、誠実に支援にあたる仲間を増やす活動を夢に、走り続けようと思えます。

小澤竹俊

常勤医師が3名増えました

2015年4月より常勤医師が3名増えました。福崎先生は、3月までピースハウス病院で緩和ケアに従事していました。小澤院長と同じ山形大学医学部第1内科の出身で、医局の後輩にあたります。呼吸器内科を専門に学ばれてきました。鈴木先生は、秋田県からお越し頂きました。自治医大で地域医療に従事した後、緩和ケアを学ぶためにがん診療拠点病院で活動をされてきましたが、在宅緩和ケアやスピリチュアルケアを学びたい思いでお越し頂きました。そして、町田先生は横浜市民病院の救急医療で3年活動された後、在宅緩和ケアを学びにお越し頂きました。これにあわせて、看護師、訪問診療サポーターも増員となりました。これで常勤医師6名、非常勤医師6名、看護師5名、訪問診療サポーター2名、地域連携室3名(MSW2名、Ns1名)の体制で、診療にあたるできるようになりました。在宅での療養を希望される患者さん・家族の支援に速やかに対応できるようにこれからも努力して参ります。



左から、
福崎先生
町田先生
鈴木先生



わたし、くーちゃん。
めぐみ在宅クリニックで
おしごとしてるの！

診療実績

	2006-2013年	2014年計	2015年1月	2015年2月	2015年3月	2015年計	総計
訪問回数	26,421	6,235	623	602	611	1,836	34,492
自宅永眠	1,087	199	24	18	10	52	1,338
施設永眠	96	33	0	5	0	5	134
在宅(自宅+施設)	1,183	232	24	23	10	57	1,472
病院永眠	288	42	4	6	5	15	345